

## 音楽大学において採用説明会を実施



昭和音楽大学出身の女性自衛官による説明



熱心に説明する陸中央音楽隊の担当者

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋 准陸尉）は、7月4日（火）、6日（木）の両日、洗足学園音楽大学及び昭和音楽大学において、陸海空自音楽隊の支援を得て「音楽要員採用説明会」を実施した。

本説明会は、毎年7月上旬に開催している年に一度のイベントで、両日合わせて54名の学生が参加した。説明会では、当初広報官による全般説明の後、各音楽隊の担当者がそれぞれの音楽隊の任務や特性、採用制度について説明した。説明者の中には、母校出身の女性自衛官もあり、「今では全国に仲間がいる」「人を喜ばせるやりがいのある職場」など魅力ややりがいをアピールし、「同じ制服を着て一緒に演奏することを楽しみに待っています」と後輩たちに熱く語りかける場面もあった。また、学生からの「体力面が心配」などの質問に対しても、「仲間と一緒にだから安心して」と終始笑顔で答えていた。

溝の口募集案内所は、「今後も、引き続き大学との連携強化を図り、自衛隊音楽隊への理解促進に努めていく」としている。

## 市街地広報に募集相談員が協力



学生等に声掛けする地域の募集相談員

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原 1陸尉）は、7月4日（火）、JR戸塚駅前において、学生の通学時間に合わせて市街地広報を実施した。

当日は蒸し暑い青空の下、募集相談員4名も支援に駆けつけ、所員とともに学生への声掛けや募集用リーフレットの配布など、汗だくになりながら協力していただいた。

普段目にする機会の少ない自衛官の制服姿に、興味津々に近づいてきた学生からは「色々な受験を考えているが、自衛隊も選択肢の一つに考えてみたい」という声や、うちわを受け取った高齢者からは「暑い中で苦勞さま。自衛隊を応援しているので頑張ってください」と熱い声援をいただくなど、自衛隊の存在が地域に根付いていることを再認識することができた。

上大岡募集案内所は、「今後も、募集相談員と連携した広報活動を通じて、募集及び防衛基盤の拡充に努めていく」としている。

## 横須賀基地厚生センターで予備自衛官等制度をPR



予備自衛官等制度の説明を受ける海自隊員

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、7月10日（月）、11日（火）の両日、海上自衛隊横須賀基地において予備自衛官等制度の広報活動を実施した。

昼休みの時間帯に厚生センター内に広報ブースを設置し、隊員に対して予備自衛官等制度について説明するとともに、100名以上の隊員等に制度パンフレットや広報グッズを配布した。

海自厚生センターでの制度広報は、神奈川地本として初の試みであったが、中には陸上自衛隊の制度である即応予備自衛官に興味を示し、熱心に質問をする隊員も見られた。

神奈川地本は、「今後も県内の各駐屯地・基地等で予備自衛官等制度の広報活動を実施し、制度の普及及び志願者の獲得に繋げていく」としている。